

まこと新聞

発行者 高島まこと
後援会 直大法
明石市 辺法
龜山町 205
寺 85-1744

高島まこと4つの充実

1. 子育て環境
2. 医療事業
3. 防災環境
4. 福祉環境

防災について

皆様 お元気ですか？

まこと新聞も第2号を発行する事になりました。今回は、4つの充実の三番目にあります防災環境について少し考えを述べさせて頂きます。

私は、現在辺法寺町に住んでいます。私の住む地域でも防災について色々考える事が有ります。最近、ニュースで近い将来

東海地方で発生するかも知れない大地震の話題が有ります。

東海大地震に備えて

皆様も記憶に残っているかと思いますが、平成一九年四月一九日 二時一九分に亀山に大きい地震が発生しました。丁度、日曜日のお昼と重なり自宅に居た方も多かったのではないのでしょうか。市内の被害としては亀山城の石垣や、JR関駅の駅舎などの一部倒壊が有りました。私の家も食器棚などからコップや茶碗が落ちて

きたり仏壇の位牌が倒れたり色々有りました。もし万が一、私の住む辺法寺野登地区で橋が崩れる様な事が有りますと、たちまち孤立地帯になってしまいます。南には、安楽川、北には八島川が流れている事で地震にしても台風による大洪水で橋の崩壊と共に孤立地帯になります。先般も新聞報道でこの辺法寺近辺に大きな断層が有ることを載っていました。しかし現実をとらえてみると市民の皆様は、防災意識がまだまだ低いように感じられます。大災害が起きてからでは遅いのです。あああの時災害に備えて避難所を確認しておけば良かった、非常食を準備しておけば良かった・・・後悔先に立たず・・・では遅いのです。この様な事態を避けるためにも防災重点地域として防災に強い街、公共整備、インフラ整備を進めなければ成りません。

防災対策は、むやみやたらにするのでは無くそこに生きる生態物も十分配慮する必要があります。崖崩れにしてもコンクリートで固めるのも最小限にしてまず植林等の昔ながらの自然の力を利用して自然と共に共存できる方法を考える行かなければ成りません。市民の皆様も防災意識の高揚として常日頃から、防災訓練等に積極的に取り組む事が肝心だと思います。訓練の場や機会を増やしていきたいと考えています。災害は、いつ発生するか判りません。発生した場合、如何に被害を最小限に抑えるか又、市民の皆様の尊い人命を守るのが私の仕事だと考えています。次に救急、消防ですが、現在亀山市の消防署は、二ヶ所 野村に亀山消防本部が有り、関町木崎に消防署が有ります。救急車の到着時間も問題になります。亀山市の北部地域には、分署等が無いため救急車の到着が遅れる恐れが有ります。救急処置として心肺停止状態から約三分

北部地区消防署早期実現を！

間が重要と成つてきます。市の総合計画にも北部地区分署計画も入っている様です。ので早期実現していくよう働きかけて行く考えです。

で生存率が約五十%に成ります。早期の緊急医療体制の整備が必要かと思えます。救急だけでは有りません。火災においても北部地域は、みずきが丘、みずほ台、みどり町、アイリスヒルズ等亀山を代表する大きな住宅地が密集しており、人口も集中してあります。ひとたび火災が発生しますと被害は大きく広がり、初期消火の観点からでも消防車の到着時

農業について

次は、農業のお話です。私達の主食 米ですが、その米作で現在大きな問題があります。

労力に見合った収入確保を！

支援者様のお宅でお話を聞いた内容です。よく耳にするのは、割に合わない・つまり米作をしても採算が取れない。人件費も出ない。赤字でやればやるだけ損をする・詳しく話を聞いてみると、農業機械は、とても高価で例えば、トラクターは、高級自動車が買えるくらいします。トラクターだけでは米作は出来ま

せん。田植機やコンバイン、乾燥機等も必要です。その反面肝心な米価(平成21年度 玄米六〇kg 一俵で一万二千元 一等米)は、年々下がっているのが現状です。今から約十五年程前迄は、政府米と云って供出制度が有りその頃の米価は一万八千円程です。実に三三%も下がっている計算になります。政府は、今年の四月からスタートする戸別所得補償モデル対策制度ですが、十アール(一反〓三百坪)当たり一万五千円しか補償がなくまさに焼け石に水です。油代にも成りません。形だけの政策は、意味がありません。もう少し踏み込んだ政策が必要だと考えます。田植機などは、年間三六五日の内、せいぜい使って二日・あとの三六三日は、納屋でほったらかし・手入れしてよく使って五年減価償却などとても出来ません。本当に何をしているのか解らない。かと云って手で植える訳には、いきま

せん。また、農業資材のビニールハウスのビニール、苗箱や、農薬、堆肥の値段も上がって来ました。農業用水もタダでは有りません。もう少しコストを抑えた農業をしたいのですが、赤字分を少ない年金で補填しているのが現状です。切実にお話されました。現在、自動車を新車で購入すると減税補助金が頂けたり、電化製品ですとエコポイントが付きます。農業機械や、農業資材にもこの様な制度を導入すべきだと考えます。次に、後継者不足です。人は年々年を取って体力も衰えてきます。この亀山近辺で、農業に携わっている方は、ほとんど高齢者の方が占めています。先祖代々から受け継がれてきた農地ですが採算が取れませんので若い人の農業担い手が居ないのが現状です。私の知人の方で、次の様なお話を聞きました。

若い世代に魅力有る農業を！

親父の生きているときに購入した農業機械が現在有りまので米作が出来ますが、この中のひとつでも壊れて使えなくなったら新たに購入して米作はしたくありません。いや、出来ないと思いません。その分お米がどれ位買えると思いませんか？

約二〇年分は楽に買えると思いません。労力や、経済的にも大変です、本当に出来ません。親父の生きているときに購入した農業機械が現在有りまので米作が出来ますが、この中のひとつでも壊れて使えなくなったら新たに購入して米作はしたくありません。いや、出来ないと思いません。その分お米がどれ位買えると思いませんか？このままで亀山の将来の農業は本当に良いのでしょうか？若い人で農業の担い手がいなくなってしまう。この様な現実を直視し、もつと農業の面において勉強し実現性有る政策を御提案していきたいと思えます。